

第45回「ハートミーティング」意見交換の内容について

中京区役所若手職員プロジェクトチーム，京・みつばちの会

★参加メンバーからの主な声

- 「若手職員だからこそ勢いのあることをやってもらいたい」という市長からの言葉を心に留めて、今後の仕事に取り組んでいきたい。
- これまでの活動を振り返り、市長と意見を交わすことで、今後のチームの方針をどこに向けていくべきか、改めて考えることができた。
- 「若手職員に対して期待することは」との問いに、市長から「まず奇抜なアイデアや誰もが思いつかないことを提案し、そして推敲して現実とのギャップを埋めていくのが今日の行政マンである」という言葉をいただいた。若手職員の士気も大いに上がったと思う。
- 市長にお会いし、初めは緊張していたが、和やかな雰囲気の中でリラックスして会話ができた。市長が若い職員を尊重されていることや、京都のこと、市民のことを本当に一生懸命に考えておられることがわかり、嬉しくて一層やる気が出た。

★市長からのコメント

- 自分の仕事で知識を蓄えていくことも大切だが、仕事の枠を超えてより幅広くコミュニケーションを図っていくことが非常に重要である。その意味で、このプロジェクトは、本来の担当業務ではないところで職員が結びついて活動し、さらにその活動を通じて市民の様々な想いを感じ取ることができる素晴らしい取組である。
- 若手職員には、安心・安全をベースにし、リスクをケアしつつも、大胆に、一歩踏み込んで仕事を進めてほしい。
- 私も自宅でグリーンカーテンに取り組んでいるが、このプロジェクトを通じて地域住民の方にまちなか緑化の意識が更に浸透し、中京区が花と緑で包まれた街となることを期待したい。